

宮崎県医療審議会議事録

1 開催の日時 令和6年1月22日（月） 午後6時から午後6時55分まで

2 開催の場所 県庁防災庁舎51号室

3 出席者 (委員)

河野雅行	山村善教
上窪高志	野邊忠浩
吉住秀之	内村大介
十屋幸平	仁田脇七郎
梅野恵美	野村美智子
松本順子	帖佐悦男
中武郁子	宮川香代子
甲斐敬子	

*欠席

池井義彦	赤須郁太郎
佐藤貢	

(事務局) 川北正文	和田陽市
徳地清孝	関係課担当職員

4 議事

(1) 開会

事務局が開会を宣した。

18名の委員中15名の出席があり、定足数が満たされている旨の説明を行った。

(2) 議事録署名人選出

河野会長より梅野委員及び帖佐委員の両名が議事録署名人に指名された。

(3) 審議事項

① 基準病床数について

河野会長が事務局に説明を求め、事務局から説明があった。

委員からの意見等はなかった。

② 第8次宮崎県医療計画（案）について

河野会長が事務局に説明を求め、事務局から説明があった後、次のような意見等があった。

吉住委員	脳卒中について、医療圏が7から4に変更となり、搬送領域が広域化することから円滑な救急搬送が行われているかについて評価が必要と考える。患者の所在地や病院搬送までの時間といったデータを結びつけて評価できるような情報収集を求めたいがいかがか。
事務局	御指摘いただいた視点については大事な視点であると考えている。関係課と連携していくとともに、循環器病対策推進協議会の委員の先生方に御意見をいただきながら検討していきたい。
河野会長	先ほどの基準病床数について、基準病床数を超えている圏域において何か対策をとるのか。
事務局	地域医療構想に基づき各圏域で病床機能の再編等を進めいただいているところである。また、県の補助金活用についても周知を行いながら取り組んでいる。民間の病床廃止等についてはハードルが高いものと考えているが、地域において今後の医療需要のデータ等を示しながら議論を行い、必要に応じて補助金等を活用いただき、病床の整合性を図ってまいりたい。

さらに会長が意見等を求めたが、意見等はなく、第8次宮崎県医療計画（案）について了承された。また、今後、答申にあたって、修正等がある場合は会長に一任いただくことについて併せて了解された。

③ 医師の働き方改革に関する事項について

河野会長が事務局に説明を求め、事務局から説明があった。
委員からの意見等はなく、本件について承認された。

(4) 閉会

事務局が閉会を宣した。